

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 7 | 高齢者虐待に対する「マニュアル」はあるが、会社としての「指針」がない。 | 早急に高齢者虐待に対する指針を作成、掲示していく。 | マニュアル、指針共に全事業所が共有できるように会社として作成している。正式なものとして本社に伝え、作成を依頼している。完了次第、すぐに掲示していくようにする。 | 3ヶ月 |
| 2 | 8 | 成年後見制度を利用されている方はいますが、すべての職員が成年後見制度や医療同意ができない事等を理解しているとはいえない。 | 成年後見制度全般についての理解を深め「後見人の役割」等を職員全体で共有する。 | 今後も後見人制度を利用し、入居となるケースは増えてくると思われる。実業務の中で後見人が「できる事」「できない事」(医療同意等)を中心に研修等を都度都度行っていく。 | 6ヶ月 |
| 3 | 18 | 入居者様に手伝っていただく事、(洗濯物たたみ等)職員と一緒にいるが現状、職員やフロアの状態によってはできない日もある。 | お手伝いも含め「できる事はやっていただく」という姿勢を維持しグループホームとしての役割や「暮らしを共にする者同士」としての関係を深めていく。 | 状況によって難しい日もある中で、少しでも役割はないか、一緒に出来ることはないか、職員間で連携を取り実行していこうという意識付けを強めていく。 | 6ヶ月 |
| 4 | 20 | コロナ禍で外部との接触が厳しい中ではあるが、その中で可能な「馴染みの人や場所」との関係を強める事を考えていきたい。 | コロナ禍でもできる「馴染み」を感じられる様にしていく。 | 現在のコロナ禍がどの様に変わっていくかは想定が難しいが、テレビ電話含め、できる事を常に考え、工夫していく努力を職員一同で行っていく。 | 6ヶ月 |
| 5 | 26 | 記録管理等をネットワーク環境で行いペーパーレス、業務簡素化を図っているがシステムすべてを使いこなせてはいない。 | 電子記録システムを使いこなし、今まで以上に使いやすく、状態を把握、共有しやすいシステムを構築していく。 | 現在のシステムの介護計画や日々の記録を活用し、把握しやすいシステムや環境作りを考え介護計画や日々の業務の現状に即した都度都度の見直しとネットワークソフト業者への現状と希望を伝え、共有しより良いシステム作りと活用を進めていく。 | 6ヶ月 |